

筑波大学 社会・国際学群 社会学類

平成 31 年度 推薦入学試験

筆記試験問題冊子

(注意事項)

1. 問題冊子 1 部、解答用紙 2 枚が配られているか、確認してください。
2. 解答用紙の所定欄に、受験学群・学類、氏名、受験番号を記入してください。  
これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
3. 解答用紙については、下書き用紙をはずして使用してください（下書き用紙は回収しませんので、自由に使って結構です）。解答は、原則として横書きとします。なお、表題をつけるかつけないかは、解答者の判断に任せます。

【問題】

2015年6月、内戦下のシリアで武装勢力に拘束されたフリージャーナリストが、3年4ヶ月ぶりに解放され、2018年9月25日に帰国した。その後、インターネット上で彼の行動に対して「自己責任」という観点からの賛否両論が巻き起こっている。

このような「自己責任」の論争が生じる背景(理由)を説明しつつ、具体例を用いて、「ジャーナリズム」と「自己責任」について、「利益相反」という観点から自由に論じなさい。

註) ここで言う「利益相反」とは、“ある行為により、一方の利益になると同時に、他方への不利益になる行為のこと”を指します。